

公益財団法人鳥取市文化財団

平成27年度事業報告書

I 基本方針

鳥取市に関係した文化・観光・産業に関する資料や文化財の調査、研究、収集、保存及び公開を行うとともに教育普及啓発を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域の振興に寄与する。

II 事業内容

公益目的事業

1. 鳥取市に関係した文化・観光・産業に関する資料や文化財の調査、研究、収集、保存及び公開を行うとともに教育普及啓発活動を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 指定管理施設の管理事業

指定管理者として、鳥取市設置の下記指定管理施設を鳥取市と締結する指定管理基本協定書及び年度協定書に基づき維持管理する。

- ① 鳥取市歴史博物館
- ② 鳥取市因幡万葉歴史館
- ③ 仁風閣・宝扇庵
- ④ 鳥取市あおや郷土館
- ⑤ 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
- ⑥ 鳥取市あおや和紙工房
- ⑦ 城下町とっとり交流館

(2) 展示開催事業

鳥取市の文化等にふれあう機会を提供し、これに対する関心や興味を喚起するため、文化・観光・産業に関する資料を活用し、常設展示、特別展示、企画展示等の展覧会を企画・立案・開催する。

(3) 教育普及啓発事業

鳥取市の文化等をより身近に感じてもらうため、外部有識者や当法人の学芸員による講演会・講座、文化・歴史・産業に関する体験学習等を企画・立案・開催する。

(4) 調査、研究、収集及び保存事業

鳥取市に関係した文化・観光・産業を広く発信するため、各種事業を展開するに当たり、その基礎となる資料の調査、研究、収集を行い、その成果を展示や体験学習に活用するとともにこれを整理保存し、蓄積していく。

(5) 施設貸与事業

上記指定管理施設の効率的な活用を図るとともに、市民等に能動的に施設を活用してもらうことで施設の魅力をさらに高めることを目的に施設の貸与を行う。

(6) 関連物品販売事業

鳥取の文化・観光・産業に関係した物品や各施設で実施する展覧会、教育普及啓発事業に関連した物品の販売を行う。

2. 埋蔵文化財の発掘調査及び整理保管を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理保管事業

鳥取市に点在する遺跡の発掘調査を実施し、発掘により出土した遺構や遺物の調査、研究、整理、保管を行い、その成果を報告書にまとめるとともに市民に還元する。

各施設の事業実施状況は以下のとおり。

【公益目的事業 1】

鳥取市歴史博物館（やまびこ館）

(1) 実施事業

区分	事業名	期間	入館(場)者数	事業内容
施設管理事業	指定管理	通年	—	鳥取市との協定に基づき鳥取市歴史博物館の管理・運営を行った。
展示開催事業	常設展示 「鳥取の風土と人々の暮らし」 「城下町鳥取」	27.4.1 ～28.3.31 (開館日数 303日)	28,714	展示機器類の維持に努めた。 テーマゾーンの「日本の中の鳥取」については、PCでの稼働からサイネージプレーヤーでの稼働に更新した。その他、ブラウン管モニタが限界に達して映像に支障を来すものについては適宜液晶モニタに変更をした。
	企画展 徳川家康没後400年 「鳥取東照宮の宝物～家康と鳥取藩主池田家～」	27.4.17 ～27.5.17 (27日間)	3,518	江戸幕府初代将軍・徳川家康の没後400年にあたる本年、当館の位置する鳥取市上町の樗谿公園内に鎮座する鳥取東照宮を紹介する展覧会を開催、宝物や歴史資料を通じて鳥取東照宮の歴史を紹介した。
		27.4.16	40	「内覧会」 展示関係者ならびに当館への資料寄贈者・寄託者、マスコミ関係者を招待し、開幕に先がけて展示解説を行った。
		27.4.19 27.5.16	53	「ギャラリートーク」 展示担当者が展示の内容を補完する展示解説を行なった。 会場：特別展示室
	27.4.26 27.5.3	130	「こども神輿をかつごう！」 鳥取東照宮崇敬会の協力を得て、鳥取東照宮の所蔵するこども神輿を参加者に担いでもらった。 会場：ロビー 協力：鳥取東照宮崇敬会・権現神輿会	

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
		27.5.3	33	「鳥取東照宮の拝殿を見学しよう！」 鳥取東照宮の長尾隆久宮司に解説していただき、参加者は普段みることのできない拝殿内部を見学した。 会場：鳥取東照宮
		27.5.17	75	「神輿を東照宮まで運んでみよう！」 鳥取東照宮崇敬会の協力を得て、参加者に特別展示室で展示していた神輿を鳥取東照宮まで運んでもらった。 会場：館内～鳥取東照宮 協力：鳥取東照宮崇敬会・権現神輿会
	企画展 「雅なる絵巻の世界 ～國學院大學の名品 ～」	27.5.23 ～27.6.21 (26日間)	3,305 (内夜間来館 487人)	國學院大學の特別後援の下、同大学図書館の所蔵する古典籍・古文書を出陳した。普段はあまり来館されない古典作品のファンなど、新たな客層の発見に一定の成果があったと見受けられる。
		27.5.24 27.6.21	58	「ギャラリートーク」 展示担当者が展示の内容を補完する展示解説を行なった。 会場：特別展示室
		27.6.13	122	「講演会」 源氏物語研究の第一人者で、また國學院大學所蔵の古典籍について積極的に研究を進められている針本氏に、源氏物語をはじめ、古典籍の見方や作品について、展示されている資料をつかって講演いただいた。 演題：源氏物語絵を読む 講師：國學院大學文学部 教授 針 本 正 行 氏 会場：特別展示室
	特別展 「70年目の夏 鳥取 と昭和の戦争～戦艦 武蔵・風船爆弾・歩兵 四十連隊・特攻～」	27.7.18 ～27.8.30 (38日間)	5,399	平成27年は、戦後70年を迎える節目の年。市民をはじめとした多くの県民が陸海軍の兵士として満州事変以降の昭和の戦争に従軍・参戦、多数の尊い命が犠牲になったことは忘れてはならない事実であり、その歴史を紹介する展覧会であった。 戦争体験世代が少なくなっている今、改めて平和の尊さを考える機会となるべく、当館へ寄贈された資料をはじめ全国に遺された歴史資料を通じて、昭和の戦争と鳥取について紹介した。
		27.7.17	14	「内覧会」 展示関係者ならびに当館への資料寄贈者・寄託者、マスコミ関係者を招待し、開幕に先がけて展示解説を行った。 会場：特別展示室

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
		27.7.18	50	「オープニングセレモニー」 主催者である理事長の挨拶の後、担当学芸員による展示解説を行った。 会場：ロビー
		27.7.19 27.8.16 27.8.30	175	「ギャラリートーク」 展示担当者が展示の内容を補完する展示解説を行なった。 会場：特別展示室
		27.8.8	168	「記念講演会」 日本海軍および戦艦に関する研究の第一人者である戸高一成氏を招き、戦艦武蔵及び鳥取市出身の猪口敏平艦長について講演いただいた。 演題：戦後 70 年を迎えて 戦艦武蔵と猪口敏平艦長を考える 講師：大和ミュージアム 館 長 戸 高 一 成 氏 会場：とりぎん文化会館 第1会議室
		27.8.29	23	「講座」 展覧会の内容を補完する講座を開催した。 演題：昭和の戦争と鳥取 講師：担当学芸員 横山展宏
	特別展 「荒木又右衛門と鳥取～伊賀越え仇討始末～」	27.9.12 ～27.10.25 (38日間)	4,439	荒木又右衛門を中心に、渡辺数馬・河合又五郎といった人物の史資料を集め、原資料から荒木又右衛門の活躍と鳥取のかかわりを紹介した。また「伊賀越えの仇討」は日本三大仇討のひとつと称されることから、あわせて「曾我兄弟の仇討」「赤穂義士の仇討」を描いた作品も展示した。
		27.9.11	11	「内覧会」 展示関係者ならびに当館への資料寄贈者・寄託者、マスコミ関係者を招待し、開幕に先がけて展示解説を行った。 会場：特別展示室
		27.9.12	67	「オープニングセレモニー」 鳥取市教育長、玄忠寺副住職、檀家総代、理事長によるテープカットの後、担当学芸員による展示解説を行った。 会場：ロビー
		27.9.13 27.9.22 27.9.23 27.10.4 27.10.18 27.10.25	155	「ギャラリートーク」 担当学芸員による展示解説を行った。来場者の多くから、質問などがあり関心の高さがうかがえた。 会場：特別展示室

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
		27.9.19	20	「歴史散策『荒木又右衛門の足跡をたどる』」 100円バス「くる梨」を利用して、剣豪・荒木又右衛門ゆかりの各所を訪ねた。 会場：玄忠寺、興禅寺、光明寺他
		27.10.11	126	「記念講演会」 講談師による荒木又右衛門の講談は鳥取ではじめての試み。来場者からはたいへん好評であった。 講談：決戦・鍵屋の辻～荒木又右衛門三十六人斬り！～ 講師：上方講談師 旭堂南海氏 場所：とりぎん文化ホール 第1会議室
	鳥取市・岩国市姉妹都市提携20周年記念事業 「天正九年～吉川経家と鳥取城の戦い～」	27.9.26 ～27.10.12 (15日間)	1,915	姉妹都市提携のきっかけとなった、吉川経家と天正9年(1581)の鳥取城の戦いについて紹介、解説パネルと館蔵資料を中心に展示した。 会場：地下常設展示室フリースペース 主催：鳥取市
		27.10.3	93	「記念講演会」 吉川史料館に遺る史料から、吉川経家と家族や主君など、経家の周辺について講演頂いた。鳥取ではあまり知られていない経家の人物像を紹介して頂いた。 演題：吉川資料館所蔵資料にみる吉川経家 講師：吉川資料館 学芸員 原田史子氏 会場：ロビー
	鳥取市・郡山市姉妹都市提携10周年記念事業 「鳥取士族の郡山開拓移住」	27.10.24 ～27.11.8 (15日間)	1,258	姉妹都市提携のきっかけとなった、鳥取士族の郡山開拓移住について紹介した。移住の経緯・移住の実態を紹介した解説パネルと郡山開拓移住子孫の味川家より寄贈された資料を合わせて展示した。 会場：地下常設展示室フリースペース 主催：鳥取市
		27.11.8	42	「記念講演会」 郡山開拓移住の調査に携った小山富見男氏をお招きし、姉妹都市提携のきっかけとなった、郡山市の宇倍神社から資料を発見した経緯や移住の実態など、画像をもとに講演いただいた。 演題：鳥取士族の郡山開拓移住～姉妹都市締結10年 資料発見20年～ 講師：鳥取敬愛高等学校 校長 小山富見男氏 会場：ロビー
	共催展 「第17回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」	27.11.21 ～27.11.29 (8日間)	1,067	児童生徒による地図作品約100点を展示した。 会場：特別展示室・地下フリースペース・ロビー他 主催：鳥取県地域社会研究会

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	鳥取県児童生徒地域 地図発表作品展連携 「ひろげてみよう ながめてみよう あ るいてみよう 絵図 の世界」	27.11.21 ～28.1.17 (43 日間)	2,277	毎年実施している鳥取県児童生徒地域地図作品展にあわせて、館の収蔵する近世から近代にかけての絵図類を紹介、地下フリースペースでは伊能大図フロア展示を行い、地図作りに関する理解や関心をより深めてもらう機会とした。国絵図や湊絵図のほか、名所図や道中絵図なども展示、絵図の魅力を伝えることを目指した。 会場：特別展示室・地下フリースペース
	若桜線開業 85 周年 「若桜鉄道 いまも 息づく近代化遺産」	28.1.30 ～28.3.21 (44 日間)	6,096	地域の産業の発展に貢献した若桜線の 85 年の歴史を、写真や鉄道資料とともに紹介した。本展をとおして、若桜鉄道が、交通インフラとしてだけではなく、文化・観光においても貴重な地域資産であることを多くの来館者に知っていただくことができた。 共催：鳥取市教育委員会、八頭町、若桜町、 若桜鉄道利用促進実行委員会 協力：若桜鉄道株式会社 展示協力：鳥取鉄道模型クラブ
28.1.29		10	「内覧会」 展示関係者ならびに当館への資料寄贈者・寄託者、マスコミ関係者を招待し、開幕に先がけて展示解説を行った。 会場：特別展示室	
28.1.30		61	「オープニングセレモニー」 若桜町長、八頭町副町長、鳥取市都市整備部長、若桜鉄道株式会社社長、福徳県議、理事長によるテープカットの後、若桜鉄道山田社長と担当学芸員による展示解説を行った。	
28.1.30		58	「記念講演会」 現在の若桜鉄道株式会社の社長である山田和昭氏をお招きし、若桜鉄道の魅力についてご講演いただいた。 演題：若桜鉄道秘められた魅力 講師：若桜鉄道株式会社 社 長 山 田 和 昭 氏 場所：地下常設展示室フリースペース	
28.2.7 28.2.28 28.3.13		73	「ギャラリートーク」 元国鉄職員・若桜鉄道社員・鳥取鉄道模型クラブの方々とともに、特別展示室において展示解説を行った。 会場：特別展示室	
28.3.4 ～28.3.21		3,480	「スズキ製『隼』展示」 若桜鉄道ラッピング列車&大型バイク「隼」並走パレードにちなみ、スズキ製のバイク「隼」を展示した。 会場：ロビー	

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
				「やまびこ春まつり」 展覧会への集客を図るとともに、子どもからお年寄りまで、多数のニーズに応えるべくさまざまなイベントを実施し、来館者の利用満足度向上を図った。常設展示を含め、3日間入館無料とした。
		28.3.19 ～28.3.21	2,308	「鉄道模型走行『若桜鉄道(わかてつ)でGO!!』」 鳥取鉄道模型クラブによる、鉄道模型(Nゲージ)の走行をした。 協力：鳥取鉄道模型クラブ 会場：特別展示室
				「若桜鉄道沿線マルシェ」 若桜鉄道沿線の物販を行い、地域への関心を深めてもらった。 3.19/大江の郷自然牧場 (鳥取県八頭郡八頭町橋本) 3.20/田中農場 (鳥取県八頭郡八頭町下坂) 3.21/道の駅若桜・桜ん坊 (鳥取県八頭郡若桜町若桜) 会場：ロビー
			883	「鉄児の部屋」 プラスティック製の鉄道線路や列車を用意し、子どもたちに自由にオリジナル線路を作ってもらった。 会場：地下研修室
		28.3.19 ～28.3.20	179	「ことり舎 FILM FESTIVAL」 浜村温泉湯けむり映画塾 2015年作品、「幻の漁火」はじめ、鳥取市気高町で活動することり舎制作の映画を上映し、地域の文化活動を紹介する場とした。 協力：ことり舎 会場：地下常設展示室フリースペース
		28.3.21	54	「若桜鉄道沿線の民話」 とっとり・民話を語る会に、若桜線沿線の民話を話してもらった。 ①落折の経盛伝説 ②山を降りた蔵王権現 ③イボ地藏 ほか 協力：とっとり・民話を語る会 場所：地下常設展示室フリースペース
		28.3.21	20	「歴史散策『若桜鉄道見学ツアー』」 参加者とともに、鳥取駅から若桜線の若桜鉄道に乗り、沿線及び若桜駅の見学を行った。若桜鉄道株式会社の山田社長に解説していただいた。

区分	事業名	期間	入館(場)者数	事業内容
教育普及 啓発事業	テーマ講座 「テーマで知る鳥取」	27.4.18	10	時節や展覧会に関連したテーマについて、より踏み込んだ内容を、研修室において座学形式で行なった。 会場：地下研修室 テーマ講座「鳥取大火について」 担当学芸員 横山展宏
		27.9.12	8	テーマ講座「鳥取県再置について」 担当学芸員 横山展宏
		27.10.10	30	テーマ講座「吉川経家について」 担当学芸員 石井伸宏
		28.2.6	24	テーマ講座「山名氏について」 担当学芸員 石井伸宏
	資料を読む 「近世資料編」	28.2.13 28.2.20 28.2.27	31	「鳥取藩士・植村家の古文書を読む」 座学形式で館蔵資料を読んだ。毎回テキストを変え、くずし字に取り組んでもらった。 会場：地下研修室
	資料を読む 「近代資料編」	28.3.5 28.3.12 28.3.19	20	「鳥取県護国神社の文書を読む」 鳥取県護国神社に遺された資料を、時代背景や周辺状況を説明し、参加者とともに読み進めた。 会場：地下研修室
	歴史散策 「薬研堀を歩く」	27.8.23	13	高砂屋で発行した「薬研堀お散歩マップ」をもとに薬研堀を歩いた。 会場：広徳寺、袋川土手、本願寺、高砂屋他
	やまびこクイズ 「オリエンテーリング」	27.5.17 27.10.25	16 10	春と秋の2回実施、親子での参加が多く見られた。館内だけでなく近隣の公園、神社といったロケーションを活用してクイズを設置、問題を探す楽しさと、解答を得る楽しさを演出した。常設展や特別展についても、じっくりと見てもらうきっかけとなった 会場：樗谿公園・館内
	体験学習 おうちだに工房 「地図作り教室」	27.7.20 27.7.25 27.7.26	53	鳥取県地域社会研究会との協働作業。本年は、おうちだに公園だけではなく、近隣の歴史深い土地もコースに含め、以下の3つから参加者に選択してもらったが、②太閤ヶ平コースは希望者が無かった。 ①おうちだに公園コース／梅園～東照宮 ②太閤ヶ平コース／御宮池～六角展望台～太閤ヶ平 ③山の手通りコース／第1駐車場～芳心寺～日香寺～興禅寺 会場：地下研修室ほか
	体験学習 おうちだに工房 「竹とんぼづくり教室」	27.8.1	14	講師を依頼し、初めての「竹とんぼづくり」を行った。子どもたちはノコやキリなど扱うのは初めてのようで、興味深そうだった。出来上がった竹とんぼは各々ロビーで飛ばし、楽しんでいる様子が見られた。 会場：地下研修室

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	体験学習 おうちだに工房 「ハンコ作り教室」	27.12.5	35	児童から大人まで、広い世代を対象とし、ゴムと石材のいずれかを選んでもらい、文字やイラストなど、思い思いのデザインのオリジナルハンコを彫る場を提供した。大人も子どもも、集中しながらも楽しんでおられた 会場：地下研修室
	体験学習 おうちだに工房 「コマ作り教室」	27.12.12	12	なつかしいお正月遊びのひとつ、コマ回しに親んでもらうためのイベント。年齢を問わず取り組めるよう、既成のコマに色を塗る内容とした。ひもを引くだけで簡単に回るコマだったので、子どもたちが喜んで回している姿が見られた。 会場：城下町とっとり交流館高砂屋
	夜間コンサート 「TERU 功山ポップ ス尺八コンサート」	27.5.30	56	ホテル観賞期間の夜間開館にあわせ、恒例となっている夜間コンサート。TERU 功山氏の公演は今回が 5 回目となる。前年に引き続き、TERU 功山氏の門下生 2 名とのコラボレーションや、琴との合奏、来館者も交えた歌など多彩な内容であった。 会場：中央大階段
	「入館者 50 万人セレ モニー」	27.9.13	18	平成 12 年 7 月 1 日開館から入館者 50 万人達成を祝して記念セレモニーを実施した。 会場：ロビー
	わくわく体験学習の 受け入れ	27.5.12 ～27.5.15	2	「ワクワクひがし」(東中学校 2 年生 2 名)、「ワクワク南中」(南中学校 2 年生 3 名)を受け入れ、職場体験学習を行った。短期間ではあるが、接遇や資料整理、イベント準備など、博物館のさまざまな業務を理解してもらえる業務内容を心がけた。
		27.6.23 ～27.6.26	3	
	久松小学校わくわく 体験	27.8.6	54	久松小学校わくわく体験活動の一環として、「やまびこクイズ・オリエンテーリング」を行った。グループで協力して取り組んだ経験が、今後の学校生活にも活かされることを望む。 会場：樗谿公園・館内
	パネル貸出	通 年	—	「絵葉書の世界Ⅱ」 鳥取市歴史博物館の所蔵する絵葉書のパネルを貸し出した。 会場：高砂屋
	外部出講	通 年	—	鳥取大学、観光大学、公民館、甲賀市など、県内外からの委嘱を受け、出講した。
	ホームページの更新	通 年	—	展覧会・イベントの情報を適宜更新・追加したほか、職員が持ちまわりで執筆している「やまびこのわ」では、館の事業をはじめ、隣接する樗谿公園の四季の移り変わりなど、身近な情報を提供している。
	博物館年報の発行	通 年	—	平成 26 年度の博物館活動をまとめた年報を作成し、県内外の関係機関に配布、報告した。

区分	事業名	期間	入館(場)者数	事業内容
	新聞媒体の連載	通年	—	地域の歴史・文化に関する文章を寄稿した。毎日新聞においては、財団学芸員による持ちまわりで、「先人の遺産」と題したコーナーを連載中。
調査・研究・収集・保存事業	資料整理	通年	—	未整理資料の整備・目録化及び画像データ作成を進めた。資料整理補助員を雇用、実施した。
	流通図書・古書購入	通年	—	市民からの問い合わせや、諸事業の企画・立案、情報収集に必要な図書を整備した。
	消耗品購入	通年	—	収蔵庫において適正に資料を保護・保管するために必要な消耗品、及び調査活動に必要な消耗品を購入した。
	データベース構築	通年	—	館蔵資料の活用強化を図るため、現在は台帳で管理している館蔵資料についてデータベースの構築作業を進めた。平成28年度も継続実施。
	館蔵資料の修復・保存	通年	—	収蔵資料の保存・活用のため、劣化・損傷している資料の修復・修繕並びに資料の有効活用に資する対応を行った。
	燻蒸業務	27.6.29 ～27.7.3	—	年次計画に従い2階収蔵庫を燻蒸した。
	継続調査	通年	—	博物館活動全般についての調査・研究。常設展示運用のため、因幡地方の歴史・文化の調査を継続的に実施した。
	特別調査	通年	—	鳥取城主宮部家に関する調査を実施した。これまで十分な調査がなされなかった宮部家について資料把握を重点的に行い、情報の蓄積に努めた。
	館蔵資料の写真撮影	通年	—	資料の二次利用(図版等)、劣化防止、情報公開に努めるため、博物館資料から選別して記録化(写真撮影)した。
	研修参加	通年	—	第37回文化財の虫菌害・保存対策研修会(於東京)に参加した。公益財団法人文化財虫菌害研究所の認定するIPMコーディネータの資格を取得した。
	資料購入	通年	—	「寄贈」や「寄託」では入手しにくい資料を資料収集の一環として購入し、博物館活動の基本である資料の整備・充実を図った。 50万円以上の資料購入にあたっては、資料評価委員会の開催、協議検討を行なうこととしているが、本年度は該当資料無し。
	資料の利用(閲覧・掲載・貸出等)	通年	—	収蔵資料の閲覧・掲載並びに県内外の博物館等へ貸出を行った。

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
施設貸与 事 業	貸館事業 「ロビー」	27.6.20 ～27.6.21	527	「鳥取カレーキャンパス 2015」 とっとりのお米でカレーを食べる！知る！創 る！鳥取カレーキャンパスを開催。カレーに係 わる特別講演等 3つの学科を開催し、カレーで 地方創生を図った。 主催：鳥取発！カレールウ消費量日本一堅守 プロジェクト
	貸館事業 「特別展示室」	27.11.1 ～27.11.5	258	第 8 回全国公募書道展「放哉を書く」 鳥取市出身の自由律の俳人、尾崎放哉の句を題 材にした書を通じて、尾崎放哉の魅力とふるさ と鳥取を全国に発信する全国公募書道展を開 催。 主催：新日本海新聞社
		27.11.13 ～27.11.15	156	「平成 27 年度シニア作品展」 高齢者の特技、趣味活動の成果を発表する場を 創造し生きがい活動の促進と拡充を図るため、 県内の高齢者が創作した日本画、洋画、彫刻・ 工芸、書及び写真の作品を展示した。 主催：鳥取県
	貸館事業 「研修室」	通 年	35 件	会議・研修・勉強会等のために研修室の利用を 希望する団体等に対し、研修室の貸出を実施し た。
関連物品 販売事業	商品販売事業	通 年	—	館蔵資料の絵葉書を作成、ストラップなどとあ わせ、鳥取市歴史博物館オリジナルグッズの販 売を行った。
	酒類販売事業	通 年	—	国府町上地地区の棚田で栽培した酒米を使った 清酒「京ヶ原」、泡盛「仁風」の販売を行った。
	切手類販売事業	通 年	—	切手、ハガキ、収入印紙の販売を行った。
	委託販売事業	通 年	—	書籍、工芸品、展覧会関連グッズなどの販売を 行った。
	自動販売機設置事業	通 年	—	第 1 駐車場に自動販売機を設置しコーヒー、ジ ュースの販売を行った。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	—	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・ 中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物 館等施設の利活用を行った。常設展示を活用し ながら、学習の一環として積極的に足を運んで もらう契機とした。
	財団広報事業	通 年	—	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業の PRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公 民館等に訪問しPRすることにより施設利用者 数の増加を図った。

(2) 利用状況

(単位：金額＝円)

区分	大人	小中高 校生	イベント 式典	その他	小計	合計	研修室	特展室	備品 使用	総計
人数	有料	5,402	—	—	5,402	人 28,714	人 339	利用件数 2件	利用件数 2件	人 29,053
	無料	5,167	2,828	1,344	13,973					
金額	1,811,480	0	0	0	1,811,480	1,811,480	55,800	163,800	70	2,031,150

* その他の内訳：障害者、招待者、幼児、添乗員、減免等

鳥取市因幡万葉歴史館

(1) 実施事業

区分	事業名	期間	入館(場) 者数	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	—	鳥取市との協定に基づき鳥取市因幡万葉歴史館の管理・運営を行う。
	受託事業	通年	—	国府史跡ネットワーク案内広場の維持・管理を行った。
展示開催 事業	常設展示	27.4.1 ～28.3.31 (開館日数 307日)	人 26,038	万葉歌人大伴家持の紹介をはじめ、万葉・王朝時代の因幡の歴史文化を紹介するとともに、麒麟獅子舞等の民俗芸能を紹介した。
	巡回展 関西レイルウェイフ ォトグラファーズサ ークル鉄道写真展 「風光鉄道 vol.2」	27.4.25 ～27.5.31 (32日間)	2,851	関西レイルウェイフォトグラファーズサークルと、あおや郷土館による展覧会「風光鉄道」の巡回展を行い、会員による鉄道写真約100点を展示した。 主催：関西レイルウェイフォトグラファーズサークル
		27.5.30 27.5.31	216	「走れ！鉄道模型」 1/80サイズのHOゲージ鉄道模型（蒸気機関車・往年の名車両）を多数展示し、実際に走らせ、子ども連れの家族や鉄道ファン、一般来館者に楽しんでいただいた。
企画展 「古代ノ衣ト食」	27.7.25 ～27.8.23 (26日間)	5,373	古代の人々の生活様式のうち、衣装と食事について紹介した展覧会。飛鳥時代から奈良時代を中心とした衣装の変遷や、庶民や大伴家持が食したであろう役人の食事、貴族や天皇の食事など、復元資料を通じて古代の人々の暮らしを体感していただいた。	

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
		27.7.25	18	「飛鳥～奈良時代のファッションの変遷」 飛鳥・天平時代の古代衣装の復元を手掛けた先生による、古代のファッションについての講座を行った。 講師：古代衣装研究家 山口千代子氏 会場：天平ロマンホール
		27.8.9	8	「真夏の薬膳教室」 古代から利用されてきた食材を使った薬膳料理講座を行った。 講師：料理研究家 井上美智子氏 会場：国府町中央公民館調理室
	企画展 「土器の枕～枕に眠る古代因幡の人々～」	27.9.19 ～27.11.3 (41日間)	7,255	弥生時代から古墳時代にかけて、山陰から但馬地方独特の墓制である土器を使った埋葬方法についてとりあげた展覧会。その広がりと独自性について考える中で、古墳時代における山陰地方の墓制と地域性を見直す契機とした。
		27.10.12	15	「ドキドキ器づくり」 陶芸体験を通じて、古代の器づくりを学んだ。 講師：鳥取因幡焼 陶芸作家 三木健太郎氏 会場：天平ロマンホール
	企画展 「第8回池田家墓所写真コンクール作品展」	27.12.19 ～28.1.17 (19日間)	749	第8回池田家墓所写真コンクール」に応募された写真部門、フォト575部門の入選作を展示した。 万葉歴史館への来館者には池田家墓所見学者も多く、国府町に所在する史跡の活用、周知活動の一助とした。 主催：公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会
	市民ギャラリー	27.6.6 ～27.6.27 (19日間)	1,583	「キルトのある暮らし展」 因幡万葉歴史館カルチャー教室のうち、パッチワーク教室の受講生の作品を展示した。
		28.1.13 ～28.2.14 (28日間)	1,637	「国府東小学校児童作品展」 鳥取市立国府東小学校の児童の絵画作品 61 点を展示した。
		28.1.23 ～28.2.14 (19日間)	1,312	「第28回鳥取書道代表十人展」 鳥取を代表する書道家十人の作品を展示した。 主催：宝林堂
		28.3.1 ～28.3.31 (27日間)	1,451	「平成27年度因幡万葉歴史館カルチャー教室作品展」 平成27年度因幡万葉歴史館カルチャー教室のうち、水彩画・ソフト粘土・パッチワーク教室などの受講生の作品を展示した。

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
教育普及 啓発事業	体験講座	27.4.25 ～27.5.6	97	「まが玉づくり&万葉衣装試着体験」 まが玉を手作りし、万葉衣装とともに身に付けて記念撮影を行った。
		27.7.25 ～27.8.16	208	
		27.4.25 ～27.5.6	110	「まんれき！クイズラリー」 館内及び万葉と神話の庭をじっくり見学しながらクイズを解いてもらい、当館や万葉時代の素晴らしさを再認識する契機とした。
		27.7.25 ～27.8.16	178	
		27.6.10 27.6.24	16	「体験体感 因幡の傘踊り！」 傘踊り保存会の指導を仰ぎ、8月に開催された「第18回因幡の傘踊りの祭典」への参加を果たした。
		27.7.8 27.7.22	16	因幡の傘踊りの普及と、後継者の育成もふまえて行った。 講師：国府町因幡の傘踊り保存会会員
		27.8.5 27.8.12 27.8.20	28	
		27.7.29	37	「化石レプリカ作り」 小学生を対象に、国府町上地地区で化石標本のレプリカ作りを行い、夏休みの体験学習の一環とした。 講師：鳥取生物友の会 会 長 清 末 忠 人 氏
		27.7.30	35	「子ども草木染め工房」 万葉集の時代にも行われていた自然の植物を染料にした草木染め（絞りを入れたもの・挟んで染めたもの）の体験学習講座を開催した。 指導：国府町内草木染グループ「茜の会」
		27.9.21 27.11.1 28.3.20	33	「組紐づくり」 キットを使って、織り方や編み方について楽しみながら体験してもらい、奈良・平安時代の衣装や染色について考える契機とした。
		27.11.1	20	谷地区公民館協力事業「ものづくり講座」 町内の地区公民館の要望に応じて、リース作り講座を行った。
		27.11.15	16	「秋の草木染め」 万葉と神話の庭を散策しながら、万葉の庭で育成した紫草の草木染めを行った。 万葉植物に触れながら万葉集を紹介し、万葉と神話の庭についても広く周知した。
27.12.12	50	「勾玉づくり&衣装体験」 わかあゆ児童クラブの要望に応じて開催した。		

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
		27.12.13	25	「お正月寄せ植えづくり」 松・竹・梅などの古来より縁起がよいとされる植物を用いて、新年を迎えるのにふさわしい寄せ植えを仕上げた。
	「雅楽・舞楽の宴～万葉に地に響く千年のうたまい～」	27.11.3	2,767	伝承館を舞台とし、国府まつりの日に合わせて開催し、会場を訪れる方々に宴を楽しんでいただいた。 雅楽、伎楽が因幡万葉歴史館の常設展示のテーマの一つでもあり、当館への理解を深める契機となった。 出演団体：山陰雅楽舎 雅楽烏
		27.11.3	120	「管楽器・絃楽器・打楽器の演奏体験」 公演後に楽器演奏を体験できる時間を設け、めったに触れる事のできない古典楽器の演奏を楽しんでいただいた。
	わくわく体験学習の受け入れ	27.5.12 ～27.5.15 27.6.23 ～27.6.26 27.6.30 ～27.7.2	8	市内中学校2年生を対象に実施している社会体験学習を受入れた。 鳥取市立東中学校 3名 鳥取市立国府中学校 2名 鳥取市立桜ヶ丘中学校 3名
	因幡万葉歴史館カルチャー教室	27.4.1 ～28.3.31 (187回)	2,201	天平ろまんホールにて、ボタニカルアート、水彩画、パッチワーク、短歌、骨盤体操、ストレッチ、陶芸教室など、前期17教室・後期17教室、各教室月1～2回合計187回開催した。
	イベント事業 「第18回因幡の傘踊りの祭典」	27.8.22	3,581	県東部の傘踊りや手笠踊りの団体などが、「因幡の傘踊り」発祥の地に一堂に集い豪華競演した。傘踊り体験コーナーや出店、祭典終了後に打ち上げ花火を実施した。
	イベント事業 「万葉フェスティバル in 鳥取～第18回万葉集朗唱の会～」	27.10.18	1,394	大伴家持が詠んだ歌470余首を参加者全員が万葉衣装に身を包み、思い思いにリレー方式で歌い継いだ。 万葉食の出店や茶席、地産地消コーナーを設置し来館者との交流を図った。
	イベント事業 「第16回曲水の宴」	27.10.18	12	庭園の遣水に盃を浮かべ、流れにあわせて詩歌を詠む万葉時代に行われた貴族の優雅な遊びを再現した。
	こどもパレード in 万葉	27.10.18	55	国府町内の小学生が万葉衣装を着用し、因幡国庁跡までパレードを行った。
	第22回旧正月万葉茶会	28.2.7	110	万葉集最後の歌が詠まれた旧正月に、大伴家持の歌が書かれた茶碗で抹茶を振る舞い、琴とフルートの演奏を楽しみながら旧正月を祝った。
		28.2.7	13	「短歌づくり講座」 大伴家持が詠んだ歌にちなんで、短歌作り教室を行った。 指導：鳥取県歌人会 前会長 北尾 勲 氏

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	万葉衣装試着体験及び衣装の貸出	通 年	259	万葉衣装の試着体験及び小学校・高等学校・各種団体等への万葉衣装の貸出を行った。
	展示解説	通 年	—	来館者の要望に応じて、展示の解説を行った。
	万葉朗唱普及活動	通 年	—	伝承館で万葉集朗唱の指導を行った。 小学校 2 校、保育園 1 園が伝承館を利用して事前練習を行った。
	ボランティアの受け入れ	通 年	603	展示の解説・案内、草取り、庭木の剪定、茶席、催し物、生花等のボランティアの受け入れを行った。
	因幡万葉歴史館万葉集朗唱の会実行委員会事務局事業	通 年	—	万葉のふるさととしての地域づくりを推進していく事業の一環としての「万葉集朗唱の会」を開催し、広く全国から参加者を募り、万葉集を朗唱する事によって、万葉集に親しみ理解を深める取り組みを行った。
	国府町因幡の傘踊り保存会出演依頼取次窓口事業	通 年	12 件	「国府町因幡の傘踊り保存会」への出演依頼を受けて調整をし、伝統芸能の保存・継承を促進するとともに、地域の活性化を図った。
	ボランティアガイド依頼取次事業窓口事業	通 年	—	ボランティアガイド「いなば国府ガイドクラブ」の活動の助力となることで、国府町の観光振興を図った。
調 査・ 研 究・ 収 集・ 保 存 事 業	次年度以降の展示の準備	通 年	—	次年度以降の展覧会に係る調査をした。
	調査・研究	通 年	—	蔵書・館蔵品の調査・研究を行った。 国府町に関する歴史・文化の資料・寺社等について調査をした。
	収集・保存	通 年	—	寄託・寄贈資料等の受け入れを行い資料の収集・保存事業を行った。
	研修参加	通 年	—	第 37 回文化財の虫菌害・保存対策研修会（於東京）に参加した。公益財団法人文化財虫菌害研究所の認定する I P M コーディネータの資格を取得した。
施設貸与 事 業	伝承館・庭園等の貸出 事業	通 年	—	国府まつり等の催事、しゃんしゃん祭り・因幡の傘踊り・万葉集朗唱の練習、庭園での撮影等に施設の貸出を行った。
関連物品 販売事業	商品販売事業	通 年	—	絵葉書、書籍、勾玉キット、懐紙などの鳥取市因幡万葉歴史館関連グッズの販売を行った。
	喫茶事業	通 年	—	来館者及び地域住民の憩いの施設として喫茶業務の提供を行った。
	委託販売事業	通 年	—	お菓子、書籍、展覧会関連グッズなどの販売を行った。
	その他販売事業	通 年	—	万葉衣装の試着・写真撮影を行った。

区分	事業名	期間	入館(場)者数	事業内容
その他財団共通事業	博学連携推進事業	通年	—	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行った。常設展示を活用しながら、学習の一環として積極的に足を運んでもらう契機とした。
	財団広報事業	通年	—	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図った。

(2) 利用状況

(単位：金額一円)

区分	大人	小中高 校生	イベント 式典	その他	小計	合計	伝承館 庭園ほか	コピー 備品等	総計
人数	有料	3,421	—	—	—	3,421	人 利用件数 3件	利用件数 10件	人 26,038
	無料	854	2,388	10,021	9,354	22,617			
金額	1,001,840	0	0	0	1,001,840	1,001,840	16,500	25,660	1,044,000

* その他の内訳：障害者、幼児、添乗員、視察等

仁風閣・宝扇庵

(1) 実施事業

区分	事業名	期間	入館(場)者数	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	—	鳥取市との協定に基づき仁風閣・宝扇庵の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	27.4.1 ～28.3.31 (開館日数 306日)	人 38,478	国指定重要文化財である仁風閣について紹介する展示。 仁風閣及び鳥取藩主池田家の歴史を実物資料とパネルで紹介した。
	企画展 「甦る鳥取城」	27.4.1～ 28.3.31 (306日間)	38,478	鳥取市で行われている鳥取城跡大手登城路の復元工事の紹介や鳥取城跡、藩主池田家の歴史を紹介した。
	企画展 「仁風閣フォトコンテスト2014写真展」	27.4.25～ 27.6.14 (44日間)	7,085	2014年度に開催した『仁風閣フォトコンテスト2014』に応募いただいた作品を2階陳列所にて一堂に展示した。
	共催展 「第8回池田家墓所写真コンクール作品展示」	27.9.5 ～27.10.18 (38日間)	6,674	「第8回池田家墓所写真コンクール」に応募された写真を展示した。併せて、池田家の歴代藩主及び墓所の様子を紹介した。 主催：公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
		27.10.18	35	関連イベント 講演会 「仁風閣と池田家のはなし」 仁風閣学芸員 横山展宏
	企画展 第10回小学生絵画展 「小林聖心女子学院 生徒絵画展」	27.10.24 ～27.12.6 (38日間)	5,875	兵庫県宝塚市の小林聖心女子学院小学校の6年生(94名)が、修学旅行の一環として仁風閣に立ち寄り写生をした。帰校後、ゆっくりと時間をかけ彩色し仕上げたその作品を展示した。
教育普及 啓発事業	「仁風閣誕生フェア」	27.5.1 ～27.5.10		仁風閣が完成したのが明治40年5月10日。この日に焦点をあて、後世に残したい建物『国指定重要文化財 仁風閣』を市民の方にもっと身近に感じてもらい再認識して頂くため、ギャラリートークやコンサート、そして1階テラス及び宝隆院庭園にて期間限定の喫茶営業を実施した。
			787	「カフェテラス」 大正ロマンをテーマに仁風閣や庭園を眺めながらスイーツとお茶を提供した。 協力：Café SOURCE
			15	「ギャラリートーク」 仁風閣の魅力を当財団理事長及び学芸員で解説・紹介した。 建築史 木谷清人 館内外 木谷清人 歴史 横山展宏
			130	「ジャズヴァイオリントリオコンサート」 ベテランジャズミュージシャンと新進のヴァイオリニストが結成したトリオによる新たな音楽の世界を提供した。 出演：松本正嗣アコースティックトリオ
	仁風閣サロンコンサート 「初夏コンサート」	27.6.28	105	仁風閣謁見の間にて、鳥取県東部の社会人で構成するサクソフォン四重奏の演奏会を実施した。 演奏者：鳥取サクソフォン・クラブ
	「鳥取城講座～初級編～」	27.7.26	42	鳥取城跡の大手登城路復元工事が進められているなど、近年、城跡への関心が高まっているなか、鳥取城について知っていただける講座を3回に分けて開始した。最終日には市文化財課協力のもと、発掘現場の現地説明会を行った。
		27.10.25	43	
		28.3.27	46	
「秋の仁風閣フェア～仁風閣発 鳥取の文化芸術デイズ～」	27.10.23 ～27.11.3		11月3日(昭和51年11月3日に重文指定改修後、一般公開された)に「文化と芸術」をキーワードとして、各種イベントを開催した。	
		771	「カフェテラス」 大正ロマンをテーマに仁風閣や庭園を眺めながらスイーツとお茶を提供した。 協力：Café SOURCE	

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
		27.10.25	120	「菊池ひみこ トーク&ライブ」 仁風閣謁見の間にて菊池ひみこ氏による JAZZ 演奏会を実施した。 演奏者：菊 池 ひ み こ 氏 町 田 研 氏
		27.10.31	95	「池本喜巳写真撮影ワークショップ」 写真家 池本喜巳氏によるギャラリートーク、 モデル撮影会、フィルムスライドショー&トー クを開催した。 写真家：池 本 喜 巳 氏
		27.11.3	45	「仁風閣トークイベント」 鳥取市文化賞創設 40 周年記念として、文化賞 受賞者のトークイベントを開催した。 受賞者：文芸 手 皮 小 四 郎 氏 工芸 橋 詰 峰 子 氏 洋画 佐 藤 真 菜 氏
	仁風閣サロンコンサ ート	28.3.27	90	仁風閣謁見の間にてカプリス弦楽四重奏団によ るクラシック演奏会を実施した。 演奏者：カプリス弦楽四重奏団
	鳥取市・若桜町連携イ ベント 「仁風閣 3D プロジ ェクションマッピン グショー」	28.3.26 ～28.3.30	10,536	仁風閣外壁を使った 3D プロジェクションマッ ピングを開催した。 同時に「仁風閣スタンドベーカリーカフェ」を 開催した。 主催：鳥取市 協力：Café SOURCE
	「仁風閣お茶席」 ～茶道体験教室～	27.4 月 ～27.11 月 28.3 月 毎月 第 3 日曜日 (9 回実施)	742	「茶道裏千家・淡交会」の協力を得て宝扇庵に て茶道体験教室を開催した。 協力：裏千家 淡交会
	「仁風閣ライトアッ プ」	27.4 月 ～28.3 月 毎週土曜日 特別期間	—	毎週土曜日と、久松山一帯の「桜まつり」への 協力、大型連休、クリスマス等の特別期間に夜 間ライトアップを実施した。
	「とっとり県民の日」	27.9.12 ～27.9.13	476	9月12日のとっとり県民の日にあわせ入館料を 無料にした。 主催：鳥取県未来づくり推進局鳥取力創造課
	「鳥取三十二万石お 城まつり」	27.10.18	886	鳥取三十二万石お城まつりの実施に協力し、入 館料を無料にした。 主催：鳥取三十二万石お城まつり実行委員会
	「関西文化の日」	27.11.14 ～27.11.15	636	関西文化の日事業へ協力し、入館料を無料とし た。 主催：関西広域機構文化振興部

区分	事業名	期間	入館(場)者数	事業内容
施設貸与事業	謁見所・陳列所	通年	1,149 (111件)	会議、結婚式、婚礼写真などの使用に貸出。 婚礼写真 64件 結婚式 3件 成人写真 29件 その他 15件
	宝扇庵	通年	1,851 (83件)	結婚式 婚礼写真控室 お茶会 などの使用に貸出。 婚礼控室 47件 結婚式控室 2件 茶会 24件 その他 10件
関連物品販売事業	商品販売事業	通年	—	絵葉書、ストラップ、クリアホルダーなどの仁風閣関連グッズの販売を行った。
	委託販売事業	通年	—	書籍、絵葉書、展覧会関連グッズなどの販売を行った。
その他財団共通事業	博学連携推進事業	通年	—	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行った。常設展示を活用しながら、学習の一環として積極的に足を運んでもらう契機とした。
	財団広報事業	通年	—	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図った。

(2) 利用状況

(単位：金額一円)

区分	大人	小中高 校生	イベント 式典	その他	小計	合計	会議室	宝扇庵	総計
人数	有料	21,292	—	—	21,292	人 38,478	利用件数 111件	人 1,851	人 40,329
	無料	7,797	2,314	998	17,186				
金額	3,004,940	0	0	0	3,004,940	3,004,940	293,400	136,500	3,434,840

* その他の内訳：障害者、幼児、添乗員、視察等

鳥取市あおや郷土館

(1) 実施事業

区分	事業名	期間	入館(場)者数	事業内容
施設管理事業	指定管理	通年	—	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや郷土館の管理・運営を行う。
展示開催事業	常設展示 (ロビー展示)	27.4.1 ～28.3.31 (開館日数 305日)	人 9,960	因州和紙、夏泊の海女漁、鳴り砂、青谷上寺地遺跡、勝部ジオサイトの取り組みなどロビーのジオパーク展示コーナーで紹介した。

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	企画展 「郷土館ゆかりの作家を偲ぶ」	27.4.11 ～27.5.24 (38日間)	1,017	開館以来、たくさんのゆかりのある方々からご寄贈いただいていた貴重な資料、作品の中から、日本画・洋画・書・写真・ちぎり絵・版画など近年ご逝去された10人の作家の作品37点を展示した。
	共催事業 「あおや文化まつり2015」	27.5.30 ～27.6.7 (8日間)	793	青谷町文化協議会主催の作品展を郷土館で実施した。設営・撤収から入場者への対応まで、協議会に所属する各グループが主体的に展示に取り組むことができ、地域との協働事業として確立してきた。 主催：青谷町文化協議会
	ロビー展示 「鳥取市乙亥正屋敷廻遺跡出土遺物展示」	27.6.2 ～27.6.7 (6日間)	618	鳥取県埋蔵文化財センターが発掘調査で出土した巴形銅器などを速報展としてロビーで展示した。
	企画展 「郷土のカメラマンによる写真展2015」	27.6.13 ～27.7.12 (26日間)	796	開館以来継続している鳥取市の気高・鹿野・青谷地域在住の写真愛好家が撮影・制作した四季の風景や人物などの写真作品の展示会。20年続く継続事業であるため、出品者の関心も高く、創作活動の励みとなっている。出品作品の水準も高い。
	企画展 「戦後70年～平和への祈り～村上しま子人形展」	27.7.18 ～27.8.30 (38日間)	2,450	戦後70年の節目に当たり、青谷町出身の人形作家・村上しま子さんが制作した戦時人形約80点を展示した。第1展示室では、収蔵品の中から戦時中に使用された資料10数点を展示し、改めて平和の尊さ、戦争の悲惨さを考える機会とした。
	ロビー展示 「日韓国交正常化50周年記念韓国漁船成進号赤崎漂流記写真パネル展」	27.8.1 ～27.8.30 (26日間)	1,509	日韓国交正常化50周年を記念して、韓国漁船成進号が赤崎に漂流した当時の写真パネル展をロビーで展示した。
	企画展 「山陰海岸ジオパークの魅力展～西からの風～」	27.9.12 ～27.11.8 (49日間)	1,196	山陰海岸ジオパークが、鳥取市西部地域を含むエリアに拡大し世界認定されて1周年を記念し、山陰海岸ジオパーク、西部地域の魅力を発信する写真展を開催した。また、全国鳴り砂サミットが青谷町で開催されることに合わせて全国の鳴り砂を展示し、実際に鳴らしてみることのできる体験コーナーを設けた。
	企画展 放送大学附属図書館 収蔵品展 「ちりめん本～昔の絵で見る日本の昔話と文化～」	27.11.14 ～27.12.20 (32日間)	1,107	放送大学附属図書館のご協力のもと、同館の収蔵品の中から「ちりめん本」という明治時代に生まれた和紙を使用して作られた欧文絵本35点をお借りして展示した。その独特の風合いと錦絵のような美しい挿絵といったちりめん本の魅力に触れる機会とした。また、レプリカ2点と復元映像のDVDもお借りし展示に活用した。 協力：放送大学附属図書館

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	企画展 「井上英穂・耕之介写真二人展」	27.11.14 ～27.12.6 27.12.8 ～28.1.11 (44 日間)	1,398	鳥取市青谷町で創業 115 年となる写真館を営み、その地に根ざした活動を続ける写真家の親子、井上英穂氏と耕之介氏による写真展を前期と後期にテーマを分けて開催した。 前期は、大正・昭和の失われていく風貌などを中心とした肖像写真を 38 点展示した。また、後期は昭和 30～40 年代の暮らしや現代の風景写真を 43 点展示した。
		27.11.29 27.12.13	44	「ギャラリートーク」 展示解説を行った。
	企画展 「～気高・鹿野・青谷の子どもたちによる～第 11 回鳥取市児童生徒交流絵画展」	28.1.16 ～28.2.14 (25 日間)	795	鳥取市気高・鹿野・青谷町の小・中学校及び青谷高校美術部の生徒による美術作品 315 点を一堂に展示した。学校・学年ごとに技法・テーマなどさまざまな取り組みが見られた。
	企画展 「鳥取市西部地域市民作品展～墨と色彩の交流～」	28.2.27 ～28.3.21 (21 日間)	698	鳥取市気高・鹿野・青谷町に在住、在勤、活動される 10 名の作家とその作品 38 点を紹介した。毛筆アート、水墨画、書などの墨の世界と日本画・洋画・イラストなどの色彩のある世界を鑑賞していただいた。
教育普及 啓発事業	夏休みイベント 「アニメーション体験～おどろき盤を作ってみよう!～」	27.7.26	34	アニメーションの原点とも言われるフェナキストコープ(驚き盤)を作成した。円盤にアニメーションのコマに相当する絵を描き鏡に映して回転させて、すき間からのぞくと、絵が動いて見える簡単アニメーションで、人形アニメーション作家・かみむらじゅんこ先生を招請し、指導をしていただいた。 講師：人形アニメーション作家 かみむらじゅんこ 氏 会場：鳥取市役所青谷町総合支所
	青谷 5 館連携事業 「夏の青谷 ぶらりスタンプラリー」	27.7.18 ～27.8.30	560	夏休み期間中、青谷の施設を巡り町内の魅力を再発見してもらいながら、集客増につなげる取り組みとして、スタンプラリーを実施した。財団施設の 3 館(あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房)に加え、青谷ようこそ館とかちべ伝承館の協力を得て、5 館でのスタンプラリーを行った。
	歴史散策 「青谷まちあるき」	27.10.3	9	青谷の町中から夏泊海岸まで、狛犬、石碑などその由来や魅力などに加え、ジオパークの視点での風景を解説しながら、まち歩きを行った。

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	秋季イベント 「倉元里彩 陶芸体験教室」	27.10.4	38	午前中は小中学生を、午後是一般(高校生以上)を対象に、青谷町出身の陶芸作家倉元里彩先生指導のもと、ろくろを使用してつくる茶碗や鉢のほか、手びねりによるコーヒーカップや平皿など参加者が思い思いの作品を作っていた。焼成後12月中旬頃に参加者へ完成品を手渡した。 講師：陶芸家 倉元里彩氏 会場：鳥取市役所青谷町総合支所
	「ふるさとあおや探訪バスツアー」	27.10.12	14	青谷町内の小中学生と保護者対象に青谷町内をめぐるバスツアー。夏泊地区、井手ヶ浜、長和瀬・田原谷地区、不動滝、子守神社、青谷上寺地遺跡展示館、郷土館を見学した。住んでいても意外と知らない青谷を再発見してもらえた。 主催：青少年育成青谷町地区協議会 青谷町中央公民館
	青谷3館連携事業 「ぐるっと青谷 春のスタンプラリー」	28.3.1 ～28.3.26	296	春休み期間中の集客増を図るため、青谷町内にある上寺地遺跡展示館・あおや郷土館・あおや和紙工場の3館を巡っていただき、抽選で景品の当たるスタンプラリーを行った。
	わくわく体験学習の受け入れ	27.5.19 ～27.5.22	1	市内中学校2年生を対象に実施している社会体験学習を受け入れ、清掃や広報、展示準備など博物館事業の体験を通して、社会への認識を深める学習を支援した。 鳥取市立青谷中学校 1名
調 査・ 研 究・ 収 集・ 保 存 事 業	調査・研究	通 年	—	川六作品調査等の次年度以降開催予定の展示資料について情報収集等を行った。
	館蔵資料の整理・確認・貸出	通 年	—	青谷小学校へ長期の民具貸し出し(31点) かちべ伝承館へ長期の民具貸し出し(29点) 所蔵画像のデータ提供(3件14点) 所蔵パネルの貸し出し(1件7点) 寄託資料の閲覧対応(1件) 寄託資料の寄託期間更新(7件)
関 連 物 品 販 売 事 業	委託販売事業	通 年	—	書籍、上寺地関連グッズ、万葉歴史館のイベント入館券、また日本海新聞主催の前売り券などの販売を行った。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	—	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行った。常設展示を活用しながら、学習の一環として積極的に足を運んでもらう契機とした。
	財団広報事業	通 年	—	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図った。

(2) 利用状況

(単位：金額＝円)

区 分	大人	小中高校生	イベント 式典	その他	小計	合計	総 計
人 数	有 料	0	—	—	0	人 9,960	人 9,960
	無 料	7,516	1,021	0	9,960		
金 額	0	0	0	0	0	0	0

* その他の内訳：障害者、幼児、添乗員、視察等

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

(1) 実施事業

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
施設管理 事 業	指定管理	通 年	—	鳥取市との協定に基づき鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の管理・運営を行う。
展示開催 事 業	常設展示 「青谷上寺地のデザイン・絵画」	27.4.1 ～28.3.31 (開館日数 300日)	人 9,669	青谷上寺地遺跡から出土した文様や絵画を表した資料を中心に展示した。弥生時代や青谷上寺地遺跡の特徴を紹介した。
	ロビー展示 「2014 青谷上寺地遺跡発掘調査速報展」	27.3.21 ～27.5.31 (62日間)	1,719 (内27年度 1,446人)	平成26年度の青谷上寺地遺跡発掘調査の速報展を開催した。遺構、遺物を写真パネルで紹介した。 共同主催：鳥取県埋蔵文化財センター
	ロビー展示 「弥生人の書いた絵画・文様」	27.7.18 ～27.10.25 (86日間)	4,279	全国各地の弥生時代の遺跡から出土している絵画・文様の資料を写真パネルで紹介した。常設展示のテーマを弥生の絵画・文様にしたことに合わせて開催した。
	ロビー展示 「発見！古代の道～青谷を通ったハイウェイ～」	28.3.19 ～28.3.31 (11日間)	365 (3月末現在)	青谷上寺地遺跡、青谷横木遺跡から見つかった古代山陰道と考えられる道路跡についてパネルで紹介した。
教育普及 啓発事業	ゴールデンウィーク 体験学習 「オリジナル勾玉づくり～あなたなら何色に染めますか～」	27.5.2 ～27.5.3	113	滑石性の勾玉を作って、お好みの色に染める体験を実施した。
	青谷5館連携事業 「夏の青谷 ぶらりスタンプラリー」	27.7.18 ～27.8.30	839	夏休み期間中、青谷の施設を巡り町内の魅力を再発見してもらいながら、集客増につなげる取り組みとして、スタンプラリーを実施した。財団施設の3館（あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房）に加え、青谷ようこそ館とかちべ伝承館の協力を得て、5館でのスタンプラリーを行った。

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	青谷3館連携事業 「ぐるっと青谷 春 のスタンプラリー」	28.3.1 ～28.3.26	258	春休み期間中の集客増を図るため、青谷町内にある上寺地遺跡展示館・あおや郷土館・あおや和紙工房の3館を巡っていただき、抽選で景品の当たるスタンプラリーを行った。
	夏休み体験講座 「琥珀で勾玉をつく ってみよう！」	27.7.24 ～27.7.25	174	古来より宝石として珍重された琥珀を使った勾玉作り体験を行った。
	夏休み体験講座 「青谷夏まつり オ リジナル小物づくり」	27.7.25	159	青谷夏まつりの日、夜間開館をして貝をアイススティックに貼りつける小物づくりをし、入館者増を図った。
	夏休み体験講座 「ジェルキャンドル づくり」	27.8.1	85	貝とビーチグラスを使ったジェルキャンドルづくりを実施した。
	秋季体験講座 「青谷ようこそまつ り 小物づくり」	27.10.17 ～27.10.18	117	青谷ようこそ祭りにあわせて開催した。プラ板に絵を描いてトースターで焼いて小物をつくった。
	秋季体験講座 「手形をつくって記 念にしよう！」	27.11.21	43	上寺地遺跡から見つかっている足跡にちなみ手形づくりを実施した。
	冬季体験講座 「古代の宝石 琥珀 で勾玉をつくっちゃ おう！」	27.12.5 27.12.13	121	古来より宝石として珍重された琥珀を使った勾玉作り体験を行った。
	冬季体験講座 「鑄造体験 鏡やお 金をつくってみよ う！」	28.1.23	66	青谷上寺地遺跡から出土した星雲文鏡の鑄型を導入した鏡と、貸泉の鑄型を用いて鑄造体験を実施した。
	「青谷ようこそまつ り出張パネル展示」	27.10.17 ～27.10.18	52	青谷町のイベントである青谷ようこそ祭会場に、青谷上寺地遺跡のパネルを展示し、展示館への誘導を図った。
	「むきばんだまつり 参加、出張展示・体験」	27.9.23	218	展示館職員と青谷上寺地遺跡友の会でむきばんだまつりに参加した。オープニングイベント参加や出張展示・貝輪づくり体験をおこなった。
	「ギャラリートーク」	28.3.7	22	常設展示の入れ替えにともない、展示解説を実施した。
	青谷小学校上寺地ク ラブ活動協力	27.5.13～ 全10回	各回11	青谷小学校のクラブ活動「上寺地クラブ」の指導者として学芸員を派遣した。4年生から6年生を対象にし、関係施設・発掘現場見学、貝輪、勾玉づくり体験などを行った。
	常設展示解説	通 年	1,437	来館者の求めに応じて常設展示の解説を行った。館員のほか青谷上寺地遺跡友の会ボランティアの協力も得て行った。
	体験学習 「土器・土笛づくり」	27.8.2 ～27.8.15 27.11.8	180	弥生時代の文化及び青谷上寺地遺跡に対する理解を深めるため、粘土を使って土器や土笛、銅鐸型の貯金箱づくりを行う体験学習を行った。来館者の希望に応じて実施した。

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	体験学習 「鑄造体験」	27.7.18 ～27.7.31	70	弥生時代の文化及び青谷上寺地遺跡に対する理解を深めるため、低融合金属を鑄型に流して、お金や鏡の模造品づくりを行う体験学習を行った。来館者の希望に応じて実施した。
	体験学習 「かご編み体験」	27.8.16 ～27.8.22 27.11.23	49	弥生時代の文化及び青谷上寺地遺跡に対する理解を深めるため、籐や紙バンドを使用してかごづくりを行う体験学習を行った。来館者の希望に応じて実施した。
	体験学習 「麻ひもブレスレット・コースターづくり」	27.8.23 ～27.8.30 27.11.8 28.3.20	34	弥生時代の文化及び青谷上寺地遺跡に対する理解を深めるため、麻ひもを使ってブレスレットやコースターづくりを行う体験学習を行った。来館者の希望に応じて実施した。
	青谷上寺地遺跡友の 会事務局	通 年	—	青谷上寺地遺跡友の会事務局として会長を補佐し、ボランティア活動、講演会を企画・実施した。
調 査 ・ 研 究 ・ 収 集 ・ 保 存 事 業	資料の収集	通 年	—	青谷上寺地遺跡に関する図書及び考古学関係図書の収集、関連記事の収集を行った。
関連物品 販売事業	委託販売事業	通 年	—	書籍、展覧会関連グッズなどの販売を行った。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	—	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行った。常設展示を活用しながら、学習の一環として積極的に足を運んでもらう契機とした。
	財団広報事業	通 年	—	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図った。

(2) 利用状況

(単位：金額＝円)

区 分	大人	小中高 校 生	イベ ント 式 典	その 他	小 計	合 計	コピ ー 備 品 等	総 計
人 数	有 料	—	—	—	—	人 9,669	利用 件数 4 件	人 9,669
	無 料	7,625	2,036	0	8			
金 額	0	0	0	0	0	0	1,100	1,100

* その他の内訳：障害者

鳥取市あおや和紙工房

(1) 実施事業

区分	事業名	期間	入館(場)者数	事業内容	
施設管理 事業	指定管理	通年	—	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや和紙工房の管理・運営を行う。	
展示開催 事業	常設展示	27.4.1 ～28.3.31 (開館日数 309日)	人 23,004	「因州和紙」は、千年の昔より因幡の国で作られた和紙の総称で、伝統に支えられつつ新しい時代の和紙の可能性を展望するミュージアムとして、古来の和紙の製法・道具、和紙の現在・未来などを展示した。	
		企画展 「十指連心で描く～濱田珠鳳指画展～」	27.4.25 ～27.6.21 (50日間)	3,908	指、爪、手の甲などを筆のように使って描く、唐の時代から伝わる伝統技法「指画」を日本人で唯一取得している指画家 濱田珠鳳氏の作品を展示した。
			27.4.25 27.6.7	242	「ギャラリートーク」 指画家の濱田珠鳳氏が、企画展示室で展示作品の解説を行った。
			27.4.25 27.6.7	242	「指画実演」 指画家の濱田珠鳳氏が、エントランスホールで指画の実演を行った。
	27.4.25 27.6.7	29	「指画体験」 指、爪、手の甲を筆のように使って色紙に絵を描いた。 講師：指画家 濱田珠鳳氏		
	企画展 「因州和紙でつくる～自然と人々の暮らし～」	27.7.4 ～27.9.13 (62日間)	6,506	青谷町の和紙工芸創作グループ3団体が「鳥取市西部地域の山陰海岸ジオパーク 自然と人々の暮らし」をテーマに制作した作品（因州和紙を使った折り紙、ちぎり絵、和紙の花）を展示した。	
		27.7.25	17	「因州和紙折り紙体験」 因州和紙で海の生き物を折り、色紙に貼り付け作品を作製した。 講師：和紙おりがみの会「郷の華」	
		27.8.1	17	「因州和紙ちぎり絵体験」 因州和紙をちぎって色紙に貼り付け、ひまわりのちぎり絵作品を作製した。 講師：あおやちぎり絵教室	
		27.8.8	39	「和紙の花づくり」 因州和紙を使って、あさがおの花を作製した。 講師：和紙の花ももよ草・とっとり	
	ロビー展示 「小鳥の家族 in 鳥取砂丘 写真展」	27.7.4 ～27.7.26 (20日間)	1,972	鳥取県出身の写真家 水本俊也氏が、鳥取県内在住の家族を鳥取砂丘で撮影した写真を因州和紙に印画した作品を展示した。	

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	ロビー展示 「いしもとちとせ因 州和紙ちぎり絵の世 界」	27.8.1 ～27.8.30 (26 日間)	3,579	鳥取市気高町在住の作家 いしもとちとせ氏 の、因州和紙を細かに使ったちぎり絵などの作 品を展示した。
	ロビー展示 「因州和紙剪画展」	27.9.1 ～27.9.17 (15 日間)	665	首都圏の剪画作家 6 名の因州和紙を使った剪画 作品を展示した。
		27.8.29	25	「因州和紙で切り絵体験」 因州和紙で切り絵作品を作った。
	ロビー展示 「因州和紙に描く昭 和の顔～有名人似顔 絵展～」	27.9.19 ～27.10.12 (21 日間)	2,097	鳥取市青谷町在住の似顔絵画家 宮本栄一氏 が、昭和の時代に活躍した有名人の似顔絵を因 州和紙に描いた作品を展示した。
	企画展 「ちぎり絵展～和紙 の楽しみⅦ～」	27.9.19 ～27.11.23 (58 日間)	4,958	仙台市で開催された「全国和紙ちぎり絵サー クル第 16 回全国展」出展作品の中から 47 点を選 抜して展示した。
		27.9.27	8	「ちぎり絵体験」 因州和紙をちぎって色紙に貼り付け、あじさい のちぎり絵作品を作製した。 講師：鳥取和紙ちぎり絵サークル 代表 森 文 江 氏
	ロビー展示 「Inshu washi art～ 和紙に描く 和紙で 描く 海と山の生き 物たち～」	27.11.7 ～27.12.6 (26 日間)	1,931	青谷町出身のイラストレーター おくむらのり こ氏が、昭和 40 年代の青谷の懐かしい風景や 動物を因州和紙に描いた作品を展示した。
	共催展 「第 12 回鳥取書道女 流選抜展 青谷展」	27.12.5 ～27.12.23 (16 日間)	581	鳥取県東部を中心に活躍する女性書道家 27 人 による書の作品を展示した。 主催：鳥取書道連盟
	企画展 「第 12 回因州和紙あ かり展」	28.1.16 ～28.3.27 (62 日間)	4,809	和紙を使った照明作品の全国公募を行い、応募 作品 65 点（一般部門 40 点、ジュニア部門 113 点）と、地元の和紙業者や灯り作家による招待 作品を展示した。応募作品は審査会を開催し入 賞作品を選考した。
		27.12.6	1	「あかり展ワークショップ」 因州和紙あかり展に出品することを目的とし て、和紙作り（紙漉き）やフレーム作りを行っ た。
		27.6.21 27.12.3 27.12.9	243	「あかり展出前講座」 市内の小学校、公民館に出向いて、身近にある ものを材料としてあかり作品作りを指導した。 会場：鳥取市立美保南小学校 城北地区公民館
		28.1.24 28.2.7 28.3.6	40	「ステンドグラス風和紙ランプづくり」 因州和紙と白熱球を使って、ステンドグラス模 様のようなランプ作りを行った。

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
教育普及 啓発事業	卒業証書制作	27.8.30	20	鳥取市立美和小学校 6年生
		27.10.18	10	鳥取市立逢坂小学校 6年生
		27.11.8	74	鳥取市立青谷小学校 6年生
		27.11.8	28	鳥取市立宝木小学校 6年生
		27.11.10	3	南部町立会見第2小学校 6年生
		27.11.23	8	鳥取市立東郷小学校 6年生
	紙漉き体験学習	27.9.11	24	鳥取市立鹿野小学校 4年生
		27.9.25	97	鳥取市立美保南小学校 4年生
		27.12.15	20	鳥取市立遷喬小学校 4年生
		28.2.19	8	三朝町立南小学校 4年生
	紙漉き体験	通 年	3,881	和紙独特の素朴な手触りや温もり、風合いを感じてもらい、実際に自分だけの和紙を作る紙すき体験を指導した。
	紙漉き加工体験	通 年	1,144	自分で漉いた和紙を使ってランプシェード作りなどの体験を指導した。
	青谷5館連携事業 「夏の青谷 ぶらり スタンプラリー」	27.7.18 ～27.8.30	326	夏休み期間中、青谷の施設を巡り町内の魅力を再発見してもらいながら、集客増につなげる取り組みとして、スタンプラリーを実施した。財団施設の3館（あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房）に加え、青谷ようこそ館とかちべ伝承館の協力を得て、5館でのスタンプラリーを行った。
	青谷3館連携事業 「ぐるっと青谷 春 のスタンプラリー」	28.3.1 ～28.3.26	301	春休み期間中の集客増を図るため、青谷町内にある上寺地遺跡展示館・あおや郷土館・あおや和紙工房の3館を巡っていただき、抽選で景品の当たるスタンプラリーを行った。
	体験講座	27.6.14 27.6.21	8	「オリジナルうちわづくり」 竹の骨組みに因州和紙をあわせてうちわを作った。
		27.6.2 ～27.6.30	1	「KAMI 婚式にハガキづくり」 結婚1年目にお礼状を書く紙婚式にちなんで、金粉・銀粉を混ぜた紙漉きで葉書を作った。
		27.7.18 ～27.7.20	24	「わくわく！夏休み体験～楮を叩いて雲龍紙を作ろう」 夏休み期間小学生を対象に、原料の楮を叩いて雲龍紙を作り、叩き方で変わる紙質を観察する体験講座を行った。
27.8.2				
27.8.9				
27.8.16 27.8.23 27.8.30				
27.7.5 27.7.12	3	「ペーパーウエイトづくり」 石に和紙を貼りつけてペーパーウエイトを作った。		

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
		27.8.2 27.8.9	18	「さかな釣り遊びのおもちゃづくり」 和紙を使って魚釣り遊びのおもちゃを作った。
		27.10.18 27.10.25	11	「切り絵を作ろう」 黒画用紙と和紙を使って切り絵を作った。
		27.11.15 27.11.23	13	「和紙 DE ランプづくり」 和紙と LED ライトでオリジナルランプを作った。
		27.12.6 27.12.13	1	「消しゴムはんこで年賀状づくり」 紙漉きで葉書を作り、消しゴムを彫ってスタンプを作製して、年賀状作りを行った。
		28.1.23 28.1.24	2	「因州和紙で和風づくり」 因州和紙を使って和風を作った。
		28.2.21 28.2.28	15	「おひなさまづくり」 雛祭りをテーマに、因州和紙を使って押すとゆれるお雛さま作りを行った。
	わくわく体験学習の受け入れ	27.5.19 ～27.5.22	3	市内中学校 2 年生を対象に実施している社会体験学習を受け入れ、社会への認識を深める学習を支援した。 鳥取市立青谷中学校 3 名
展示解説	通 年	—	要望に応じて、随時、展示室の解説を行った。	
施 設 等 貸 出 事 業	貸館事業 「第 16 回西いなば再 発見フォトコンテス ト入賞作品展」	27.3.28 ～27.4.19 (20 日間)	705 (内 27 年度 500 人)	西因幡地域の題材を撮影したフォトコンテストの入賞作品を因州和紙に印画して展示した。 主催：鳥取市西商工会青年部 会場：企画展示室
	貸館事業 「ようこそ書道コン クール入賞作品展」	27.10.30 ～27.11.8 (9 日間)	930	青谷ようこそまつり連携事業として、鳥取県内外の小・中・高校生の作品を募集し、その中から入賞した作品を展示した。 主催：青谷ようこそまつり実行委員会 会場：多目的ホール
	貸館事業 「第 17 回西いなば再 発見フォトコンテス ト入賞作品展」	28.2.20 ～28.3.4 (12 日間)	904	西因幡地域の題材を撮影したフォトコンテストの入賞作品を因州和紙に印画して展示した。 主催：鳥取市西商工会青年部 会場：エントランスホール
	多目的ホール	通 年	657	地域の会合や小学校、団体客などに貸出した。
	研修室（和室）	通 年	129	地域の会合や小学校、団体客などに貸出した。
	施設備品	通 年	件 41	和紙業者に、機材(ホーレンビーター・スクリーン・裁断機など)やコピー機を貸出した。
	商品販売事業	通 年	—	ブックカバー、ミニランプ、和紙小物などの鳥取市あおや和紙工房オリジナルグッズの販売を行った。
委託販売事業	通 年	—	因州和紙、キーホルダーなどの販売を行った。	

区 分	事 業 名	期 間	入館(場)者 数	事 業 内 容
	自動販売機設置事業	通 年	—	自動販売機を設置しコーヒー、ジュースの販売を行った。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	—	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行った。常設展示を活用しながら、学習の一環として積極的に足を運んでもらう契機とした。
	財団広報事業	通 年	—	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図った。

(2) 利用状況

(単位：金額一円)

区 分	大人	小中高 校 生	その他	小 計	体験	研修室 工房他	備品 使用	総 計
人 数	有 料	3,329	91	274	3,694	5,025	利用件数 27 件	人 23,004
	無 料	10,225	1,419	1,855	13,499		利用人数 786 人	
金 額	944,200	14,040	38,010	996,250	2,220,380	18,000	19,870	3,254,500

* その他の内訳：障害者、招待者、幼児、添乗員、減免等

城下町とっとり交流館

(1) 実施事業

区 分	事 業 名	期 間	入館(場)者 数	事 業 内 容
施設管理 事 業	指定管理	通 年	—	鳥取市との協定に基づき城下町とっとり交流館の管理・運営を行う。
展示開催 事 業	施設の公開・活用事業	27.4.1 ～28.3.31 (開館日数 308 日)	人 23,897	登録有形文化財「城下町とっとり交流館（高砂屋）」の公開および管理運営を行った。
	「第 8 回池田家墓所 写真コンクール作品 展」	27.4.22 ～27.5.12 (18 日間)	120	史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が開催した「第 8 回池田家写真コンクール」に応募された写真を展示した。 主催：公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会
	「ゆらりん・あかり 展」	27.7.4 ～27.9.30 (76 日間)	603	因州和紙とあかりを融合させた遊楽隣工房の作品を展示した。
		27.8.9	46	「ゆらりん工房 和紙あかりづくり」 因州和紙と蔓を使用して和紙あかりづくりを体験。(子供 15 人、大人 15 人、引率 16 人) 講師：遊楽隣工房 進 木 富 夫 氏

区 分	事 業 名	期 間	入館(場) 者 数	事 業 内 容
	「大工町高砂屋写真展」	27.10.3 ～27.11.29 (50 日間)	432	鳥取市大工町の歴史をパネルで紹介した。
		27.11.26	23	「歴史講座」 鳥取城の歴史についてモニターで写真、地図を参考にして解説をした。 演題：鳥取城 講師：鳥取市歴史博物館 学芸員 横山展宏 学芸員 石井伸宏
	「絵葉書の世界」	27.12.19 ～28.2.7 (38 日間)	152	「施設間連携事業」第Ⅰ期 鳥取市歴史博物館が所蔵している、鳥取の街並みの今と昔を絵葉書を通じて紹介するパネルを展示した。
		28.2.13 ～28.3.21 (33 日間)	301	「施設間連携事業」第Ⅱ期 鳥取市歴史博物館が所蔵している、鳥取の街並みの今と昔を絵葉書を通じて紹介するパネルを展示した。
	「放哉蔵」	27.4.1 ～28.3.31 (308 日間)	1,739	東蔵を活用して、尾崎放哉の句を題材に鳥取在住の書道家が書いた作品を展示した。
	教育普及 啓発事業	「端午の節句」	27.4.25 ～27.5.6	788
27.5.9 ～27.6.20			2,216	
「七夕」		27.7.1 ～27.7.7	170	来館者に願い事を書いていただいた短冊を竹笹に吊るして玄関へ飾った。
「月見」		27.9.27	17	すすきと団子を飾り、来館者へすすきを提供した。
「節分」		28.2.3	51	竹串にヒイラギを挟み、イワシの頭を刺したものを玄関入口両側に設置し、来館者へ福豆を提供した。
「ひなまつり」		27.3.14 ～27.4.21	3,117 (内 27 年度 1,483 人)	26 年度から引き続き、旧暦の 4 月 21 日まで寄贈していただいた雛人形・小物などを展示した。
		28.2.27 ～28.3.6	3,105	2 階全室を使用し、高砂屋近隣の方々から借用・寄贈していただいたひな人形・小物などを飾った。
		28.3.3	44	「関連イベント」 「寿製菓 白うさぎ一座」 紙芝居を披露していただき、リズム体操、白うさぎ饅頭の目付け体験を来館者に楽しんでもらった。 出演者：寿製菓 白うさぎ一座
		28.3.10 ～28.4.10	1,728 (3 月末現在)	「お雛さま展」 高砂屋に寄贈していただいた貴重なひな人形・押し雛を展示した。

区 分	事 業 名	期 間	入館(場)者 数	事 業 内 容
	「とっとりカレーフェア」	28.2.20 ～28.2.21	1,500	昭和 10 年に来鳥したイギリス人陶芸家バーナード・リーチ氏考案した、エビを使ったカレーコース料理を再現した「カレー晚餐会」や「鳥取大砂丘カレー」「全国ダムカレー展示会」「鳥取カレーヴィレッジ」など多彩なカレーを提供し、カレールウ消費量日本一の鳥取の食文化をPRした。 主催：鳥取発！カレールウ消費量日本一堅守プロジェクト実行委員会 (構成員：鳥取カレー研究所、鳥取市文化財団、中嶋米穀、鳥取とうふちくわ総研)
施 設 等 貸出事業	家財蔵 「第 1 回手漉き友禅 教室作品発表会」	27.5.1 ～27.5.14	56	市民ギャラリーとして貸し出した。
	多目的交流室	通 年	15,897	地域の会合・会議、イベント利用に貸し出した。
関連物品 販売事業	商品販売事業	通 年	—	黒文字セット、包装用箱などの城下町とっとり交流館オリジナルグッズの販売を行った。
	喫茶事業	通 年	—	来館者及び地域住民の憩いの施設として喫茶業務の提供を行った。
	委託販売事業	通 年	—	民・工芸品、染織品、木工品などの販売を行った。
	自動販売機設置事業	通 年	—	自動販売機を設置しコーヒー、ジュースの販売を行った。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	—	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行った。常設展示を活用しながら、学習の一環として積極的に足を運んでもらう契機とした。
	財団広報事業	通 年	—	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図った。

(2) 利用状況

(単位：金額＝円)

区 分	来館者	施 設 利 用					小 計	合 計	
		和室	板の間 (大)	板の間 (小)	茶室	納戸			
人 数	有 料	—	3,412 (174 件)	5,155 (414 件)	2,877 (269 件)	2,260 (134 件)	2,193 (101 件)	15,897 (1,092 件)	人 23,897
	無 料	8,000	—	—	—	—	8,000		
金 額	0	98,190	424,040	149,200	35,300	5,170	711,900	711,900	

【公益目的事業 2】

鳥取市埋蔵文化財センター

(1) 埋蔵文化財発掘調査の受託

遺跡名	原因者	調査内容	契約額(円)	遺跡所在地等
鳥取市内遺跡 発掘調査事業	鳥取市	調査面積 502.3 m ² 山手所在遺跡 史跡池田家藩主墓所 ほか8遺跡 整理・報告書作成業務	6,321,891	鳥取市域試掘調査
岩本古墳群 発掘調査事業	国土交通省	整理・報告書作成業務	5,812,040	26年度継続事業 鳥取市金沢地内 鳥取西道路改築に伴う調査
高住宮ノ谷古墳群 発掘調査事業	国土交通省	整理・報告書作成業務	2,906,946	26年度継続事業 鳥取市高住地内 鳥取西道路改築に伴う調査
金沢坂津遺跡 発掘調査事業	国土交通省	整理・報告書作成業務	10,778,480	26年度継続調査 鳥取市高住地内 鳥取西道路改築に伴う調査
里仁古墳群 発掘調査事業	国土交通省	調査面積 2,950 m ² 整理業務	32,237,155	鳥取市大桒・里仁地内 鳥取西道路改築に伴う調査
鍋山城跡 発掘調査事業	国土交通省	調査面積 2,720 m ² 整理業務	24,758,924	鳥取市大桒・桂見地内 鳥取西道路改築に伴う調査
日光長谷遺跡 発掘調査事業	国土交通省	調査面積 3,247 m ²	27,093,454	鳥取市気高町日光地内 鳥取西道路改築に伴う調査
倉見古墳群 発掘調査事業	国土交通省	調査面積 338.7 m ²	4,609,749	鳥取市高住地内 鳥取西道路改築に伴う調査
	合計	調査面積 9,758 m ² 整理・報告書作成業務	114,518,639	

(2) その他事業

① わくわく体験学習の受入

学校名	人数	体験日	体験場所	体験内容
鳥取市立東中学校	3名	27.5.11 ～27.5.15	鳥取市埋蔵文化財センター 里仁古墳群発掘調査地	調査報告書登録・書架整理 出土遺物水洗・復元・注記 鳥取城出土瓦の拓本 発掘現地調査体験